

子育てと孫育てのちがい

☆ 親の祖父母への気持ち

子育ては、同居・別居にかかわらず祖父母の協力があると助かります。また、いろいろな人とのふれ合いが、子供の心身の成長に大きく役立つと言われます。

けれども、「核家族」が当たり前になり、その言葉さえあまり使われなくなってきた現代では、祖父母も両親もどのように子育てに関わっていけばいいのかお互い戸惑っているようです。



子育ての「昔」と「今」

祖父母世代は、3世代・4世代同居が主流で親戚や地域との関わりも強く、子育てについて相談したり教わったりしていました。核家族が主流となった現代においては、多様な人との関わりは薄くなり、育児に関する情報もインターネットなどで入手することが多くなっています。

時代の変化とともに、子育てに対する考え方や方法が、昔と今ではずい分違ってきています。

例えば、赤ちゃんを抱っこしているときに「抱き癖がつくよ」と言われたことはありませんか。昔は、抱き癖をつけると赤ちゃんはショッちゅう泣くようになり、手がかかる、しっかり泣かせた方が、心肺機能も強くなると信じられていました。現代は、抱っこすることで「自分は大切にされている」と赤ちゃんは感じ、自己肯定感を育むと言われています。

時代ごとに信じられてきた育児の常識の違いを十分理解して、子育て、孫育てをしていきましょう。

- 😊 子供の面倒を見てくれる。
- 😊 子供の成長を喜んでくれる
- 😊 時間的余裕が生まれる
- 😊 しつけについて批判される
- 😊 食べ物やおもちゃを勝手に買
い与える
- 😊 子育てに口出ししてくれる

☆ 祖父母の親への気持ち

- 😊 「ありがとう」「助かった」と感謝される
- 😊 孫の笑顔に癒される
- 😊 孫の成長が楽しみ
- 😊 甘やかしすぎと言われる
- 😊 おもりは結構疲れる
- 😊 会いたいのに連れて来てくれない

あくまでも子育ての主役は親です。祖父母は、親をサポートする立場です。祖父母にとって出番が思いのほか少なく、少し寂しい思いをすることがあるかもしれません、それは親が子育てを楽しんで頑張っている証拠であります。

「祖父母の時代の子育て」と「今の子育て」とは違うこともあります。「今の子育て」や「自分たちの子育て」について、祖父母に理解してもらい、ともに子供の健やかな成長を目指しましょう。

参考資料：岐阜県健康福祉部「孫育てガイドブック」